

2012 年度事業報告

1. 会員数の動向(2013年3月31日現在)

会員種別	数	前年比
会員数合計	3,662	-85
通常会員	1,044	-11
一般 A	750	+6
B	197	-14
学生 A	25	-8
B	2	-1
高年 A	63	+4
B	7	+2
特別会員	2,350	-48
一般 A	1,750	-2
B	277	-31
C	22	-2
D	5	0
学生 A	185	-14
B	18	0
高年 A	88	+3
B	5	-2
団体会員	222	-24
団体 A	90	+9
B	81	-18
C	51	-15
賛助会員	30	-2
名誉会員	16	0

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気第59巻4号～第60巻3号、12冊(1,120頁、昨年度より98頁増、昨年度1,022頁)、各号4,000部印刷、電子ジャーナル版公開
- (2) 気象集誌(Journal of the Meteorological Society of Japan)第90巻2号～第91巻1号、特別号第90巻C(Special Issue on Japan-China Meteorological Disaster Reduction Corporation Research Center Project)、7冊(1,166頁、昨年度より136頁減、昨年度1,302頁)、各号1,050部印刷、電子ジャーナル版公開
- (3) 英文レター誌 SOLA 第8巻～第9巻、第8巻 36編145頁、第9巻7編31頁
- (4) 気象研究ノート
 - ア 225号「2010年夏 日本の猛暑」
(2012年5月)182頁1,200部
 - イ 226号「台風研究の最前線(上)」

(2013年1月)189頁1,200部

ウ 227号「台風研究の最前線(下)」

(2013年1月)165頁1,200部

(5) 大会講演予稿集

ア 春季大会(101号)500頁 1,250部印刷

イ 秋季大会(102号)582頁 1,250部印刷

3. 会議等の開催

(1) 定期総会

期日：2012年5月28日、

場所：つくば国際会議場

出席：出席者54名、参加票825名、計879名

議事：2011年度事業報告・決算報告・監査報告
2012年度事業計画・予算が承認された。

・日本気象学会第37期役員を選任について、
提案のとおり承認された。

・公益社団法人日本気象学会定款及び細則が、
提案のとおり承認された。

(2) 臨時総会

期日：2012年12月26日

場所：気象庁

出席：出席者23名、参加票846名、計869名

議事：公益社団法人日本気象学会定款案及び細
則案の修正について、提案のとおり承認
された。

(3) 理事会

第36期(第9回)2012年4月13日、東京

第36期(第10回)2012年5月26日、つくば

第37期(第1回)2012年7月27日、東京

第37期(第2回)2012年10月3日、札幌

第37期(第3回)2013年3月18日、東京

(4) 常任理事会

第36期(第20回)2012年4月13日、東京

第36期(第21回)2012年5月26日、つくば

第36期(第22回)2012年6月18日、東京

第37期(第1回)2012年7月27日、東京

第37期(第2回)2012年9月14日、東京

第37期(第3回)2012年10月3日、札幌

第37期(第4回)2012年11月9日、東京

第37期(第5回)2012年12月26日、東京

第37期(第6回)2013年1月29日、東京

第37期(第7回)2012年2月27日、東京

第37期(第8回)2013年3月18日、東京

4. 大会及び研究会等

(1) 春季大会

期日：2012年5月26～29日

会場：つくば国際会議場

担当：気象研究所

シンポジウム：放射性物質等の移流拡散問題
ーモニタリング，予測，防災情報ー

(2) 秋季大会

期日：2012年10月3～5日

会場：北海道大学

担当：北海道支部

シンポジウム：気象学が地域の未来にいかに関与
できるかーこれからの北海道の地域づく
りと気象学の研究ー

(3) 研究連絡会

ア メソ気象研究連絡会

つくば 2012年5月25日

札幌 2012年10月2日

イ オゾン研究連絡会

札幌 2012年10月3日

ウ 統合的陸域研究連絡会

つくば 2012年5月26日

札幌 2012年10月3日

エ 極域・寒冷域研究連絡会

東京 2012年5月26日

札幌 2012年10月3日

オ 非静力学数値モデル研究連絡会

(第2回非静力学数値モデル国際ワークシ
ョップ)

仙台 2012年11月28-30日

カ 天気予報研究連絡会

東京 2013年2月22日

キ THORPEX 研究連絡会

京都 2012年11月20-22日

ク 航空気象研究連絡会

東京 2013年1月31日

ケ 長期予報研究連絡会

東京 2012年10月23日

(4) 第24回日本気象学会夏期特別セミナー

(若手会 夏の学校)

埼玉県小川町 2012年7月20～22日

(5) 気象災害委員会調査研究報告会

つくば 2012年5月27日

(6) 他学会との共催等

ア 第49回アイソトープ・放射線研究発表会

2012年7月9-11日

イ 第29回エアロゾル科学・技術研究討論会

2012年8月28-30日

ウ 第22回風工学シンポジウム

2012年12月5-7日

エ 第62回理論応用力学講演会

2013年3月6-8日

5. 研究業績の表彰

(1) 日本気象学会賞

渡部 雅浩 東京大学大気海洋研究所

(2) 藤原賞

中澤 高清 東北大学大学院理学研究科

(3) 山本・正野論文賞

宮崎 和幸 (独)海洋研究開発機構/
オランダ王立気象研究所

時長 宏樹 ハワイ大学国際太平洋研究セ
ンター

(4) 堀内賞

伊藤 昭彦 (独)国立環境研究所

江守 正多 (独)国立環境研究所

(5) 奨励賞

足立 誠 気象庁松江地方気象台

多治見の気温をはかる会

(代表:吉田信夫)

(6) 気象集誌論文賞

ア J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90, 223-233

Chao WANG Nanjing University of
Information Science and
Technology

Liguang WU Nanjing University of
Information Science and
Technology

イ J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90, 311-319

日比野 研志 京都大学大学院理学研究科

石川 裕彦 京都大学防災研究所

石岡 圭一 京都大学大学院理学研究科

ウ J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90, 377-401

吉田 健二 気象庁地球環境・海洋部

伊藤 久徳 九州大学理学部

エ J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90, 947-958

寺尾 建哉 北海道大学大学院環境科学
院

堀之内 武 北海道大学大学院地球環境
学研究院

オ J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 90B, 1-10

稲津 将 北海道大学大学院理学研究院

佐竹 祐哉 北海道大学大学院地球環境
学研究院

木本 昌秀 東京大学大気海洋研究所

安富 奈津子 総合地球環境学研究所

(7) SOLA 論文賞

ア SOLA, Vol. 8, 115-118

岩崎 俊樹 東北大学大学院理学研究科
望月 康 沖縄気象台

四国地区(高知)2012年12月15日

参加者約45名

近畿地区(大阪)2012年12月17日

参加者約40名

6. 普及活動

(1) 公開気象講演会

「地球温暖化問題における科学者の社会的役割」
(つくば)2012年5月26日

参加者約 150名

(2) 第46回夏季大学

「新しい気象学」－北極温暖化と異常気象－
(東京)2012年8月5～6日

参加者約 70名

(3) サイエンスカフェ

参加者約 20～30名

第32回 (東京)2012年6月20日

第33回 (東京)2012年7月25日

第34回 (東京)2012年8月22日

第35回 (東京)2012年9月26日

第36回 (東京)2012年10月31日

第37回 (東京)2012年11月27日

第38回 (東京)2013年1月30日

第39回 (東京)2013年3月26日

(4) 気象教育懇談会

「サイエンスカフェの活動紹介と今後の展望」
(つくば)2012年5月26日

参加者約 20名

7. 支部活動

7-1 支部研究会活動

(1) 北海道支部

研究発表会 (札幌)2012年6月18日

参加者約20名

(札幌)2012年12月11-12日

参加者約40名

(2) 東北支部

支部研究会 (仙台)2012年12月11日

参加者約30名

(3) 中部支部

支部研究会(刈谷)2012年11月13～14日

参加者約50名

(4) 関西支部

ア 年会(大阪)2012年6月30日

参加者約35名

イ 例会

中国地区(岡山)2012年11月17日

参加者約35名

(4) 九州支部

支部発表会(長崎)2013年3月2日

参加者約80名

(5) 沖縄支部

支部研究会(那覇)2013年2月19日

7-2 支部普及活動

(1) 北海道支部

ア 第30回気象講座「新しい気象」

(札幌)2012年7月28日

参加者約25名

イ 気象講演会「実験で見る竜巻の不思議」

(札幌)2012年10月6日

参加者約60名

ウ 特別気象講演会(共催)「第7回札幌管区気象
台サイエンスカフェ」

(札幌)2013年3月16日

参加者約100名

(2) 東北支部

ア 第3回気象サイエンスカフェ東北

(仙台)2012年12月22日

参加者約35名

イ 気象講演会「雪害対策と樹氷今昔」

(山形)2012年10月31日

参加者約60名

(3) 中部支部

ア 第17回公開気象講座

－大気中の微粒子が気候に及ぼす影響－

(名古屋)2012年8月31日

参加者約60名

イ サイエンスカフェ in 名古屋

「竜巻の脅威」

(名古屋)2012年8月8日

参加者約30名

ウ サイエンスカフェ in 長野

二つの温暖化

～地球温暖化とヒートアイランド～

(長野)2012年10月13日

参加者約20名

(4) 関西支部

ア 第34回夏季大学

－夏の異常気象は予測できるのか?－

(京都)2012年8月25日

参加者約85名

イ 第6回サイエンスカフェ in 関西
(大阪)2013年1月26日
参加者約20名

(5)九州支部

ア 第12回気象教室
—気象と気候を予測する—
(福岡)2012年8月25日
参加者約100名

イ 第3回こども気象学会(発表会)
(福岡)2012年11月4日
参加者約100名

ウ 第4回サイエンスカフェ in 九州
(福岡)2013年2月2日
参加者約40名

(6)沖縄支部

ア 防災気象講演会
(那覇)2013年3月18日
参加者約310名

イ 親と子のお天気教室
(南風原町)2012年8月10日
参加者約300名

ウ 離島お天気教室
(竹富町)2012年7月9日
参加者約20名
(座間味村)2012年7月11日
参加者約90名
(与那国町)2012年9月13日
参加者約75名
(北大東村)2012年10月12日
参加者約65名
(竹富町)2012年10月24日
参加者約55名
(多良間村)2012年12月6日
参加者約75名

エ 施設見学バスツアー
2013年2月19日
NICT 沖縄センター(恩納村)

7-3 支部表彰活動

(1)九州支部奨励賞 今年度受賞予定者は以下3名

- ア 榎本英伍
九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻
博士後期課程3年
- イ 板橋秀一
九州大学大学院総合理工学府大気海洋環境
システム学専攻博士後期課程3年
- ウ 陳 穎雯(Ying Wen Chen)
九州大学応用力学研究所 特任助教

8. 国際学術交流活動

- (1)国際学術交流集会参加補助
・AGU Fall Meeting
(サンフランシスコ, USA)
2012年12月3日-7日
朱心悦(東北大学大学院理学研究科)

9. 電子情報関連

- (1)学会ホームページ管理運営及び移行
(2)メーリングリストの管理運営
(3)日本気象学会2011年刊行物収録DVD刊行

10. 気象研究コンソーシアム

参加研究課題 新規 5 課題
継続 27 課題
合計 32 課題

11. 学術関連

気象学・大気科学の現状のレビューの作成

12. 東日本大震災関連

- ア 2012年度春季大会シンポジウム:「放射性物質等の移流拡散問題—モニタリング, 予測, 防災情報—」 (つくば)2012年5月27日
- イ 93rd American Meteorological Society Annual Meeting: Special Symposium on the Transport and Diffusion of Contaminants from the Fukushima Dai-Ichi Nuclear Power Plant: Present Status and Future Directions(日米気象学会共催)(テキサス州オースティン)2013年1月6日

13. 公益社団法人への移行認定関連

- (1)公益社団法人移行認定申請
申請:2012年8月7日
認定:2013年3月21日
- (2)その他の規程類の整理・作成・体系化

14. その他

- (1)日本地球惑星科学連合大会
(千葉)2012年5月20日-25日
- (2)日本予報士会総会
(東京)2012年6月23日